

国土交通大臣登録試験

鉄道設計技士試験

受験案内

2023 年度

試験日：

2023 年 10 月 22 日（日）

受験申請受付期間：

2023 年 6 月 9 日（金）～2023 年 7 月 7 日（金）

【2023 年 7 月 7 日（金）の消印があるものまで有効】

公益財団法人鉄道総合技術研究所

鉄道技術推進センター

目次

| | |
|---|--------|
| 1. 鉄道設計技士試験の概要 | - 1 - |
| 1.1 目的 | - 1 - |
| 1.2 試験日時および場所 | - 1 - |
| 2. 受験資格 | - 2 - |
| 3. 試験方法および合否判定 | - 3 - |
| 3.1 試験方法 | - 3 - |
| 3.2 合格基準および合否判定 | - 4 - |
| 4. 試験科目免除制度 | - 4 - |
| 4.1 試験科目免除制度の適用 | - 4 - |
| 4.2 試験科目免除制度の特例 | - 4 - |
| 5. 受験申請 | - 5 - |
| 5.1 受験申請受付 | - 5 - |
| 5.2 受験料の納付 | - 5 - |
| 5.3 提出書類一覧 | - 6 - |
| 5.4 各書類の記入方法 | - 8 - |
| 5.4.1 受験申請書（必須） | - 8 - |
| 5.4.2 実務経験経歴証明書（2020～2022年度に提出されている方は不要） | - 9 - |
| 5.4.3 卒業証明書 （実務経験年数が12年以上または2020～2022年度に提出されている方は不要） | - 11 - |
| 5.4.4 振込明細貼付台紙（必須） | - 11 - |
| 5.4.5 はがき貼付台紙 | - 11 - |
| 5.4.6 チェックリスト（必須） | - 11 - |
| 6. 受験申請後の注意事項 | - 12 - |
| 6.1 受験票・写真票 | - 12 - |
| 6.2 その他 | - 13 - |
| 7. 試験当日の注意事項 | - 13 - |
| 8. 合格発表 | - 14 - |
| 9. 合格後の手続き | - 14 - |
| 9.1 合格証明書の交付および名簿の登録手数料の納付 | - 14 - |
| 10. 不合格になった方への注意事項 | - 14 - |

本受験案内の内容は、変更となる場合があります。

その際は、鉄道設計技士試験のウェブサイト

(<https://www.rtri.or.jp/gishi/>) にてお知らせします。

1. 鉄道設計技士試験の概要

1.1 目的

鉄道設計業務を総合的に管理できる技術能力を客観的に証明することにより、鉄道技術全体の向上を図ります。

1.2 試験日時および場所

(1) 試験日

2023年10月22日(日)

(2) 試験時間

| 試験科目 | 試験時間 | 着席時刻 |
|-------|---------------|--------|
| 共通試験 | 10時30分～11時30分 | 10時15分 |
| 専門試験Ⅰ | 12時00分～13時00分 | 11時50分 |
| 専門試験Ⅱ | 14時00分～17時00分 | 13時45分 |

(3) 試験地

①東京

- ・タイム24ビル（東京都江東区青海 2-4-32）

②大阪

- ・ハービスホール（大阪府大阪市北区梅田 2-5-25）
- ・AP大阪茶屋町（大阪府大阪市北区茶屋町 1-27）
- ・ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター（大阪府大阪市淀川区西中島 6-2-19）

※ 試験会場は、試験区分等により異なりますので、受験票の案内をよくご確認ください。

2. 受験資格

次に掲げるいずれかに該当する方が受験できます。年齢制限はありません。また、学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)の規定により、**第 1 号から第 3 号までに掲げる学歴と同等以上の学力があると認められた者**にあつては、相当する学歴に応じて各号の規定を適用します。

- (1) **大学（短期大学を除く。）を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **5 年以上**の者
- (2) **短期大学又は高等専門学校を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **7 年以上**の者
- (3) **高等学校又は中等教育学校を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **9 年以上**の者
- (4) **旧日本国有鉄道中央鉄道学園大学課程を卒業した者**であつて、設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **6 年以上**の者
- (5) 設計に関する業務(受験する試験区分の専門分野に限る。)に従事した期間(所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める。)が **12 年以上**の者

(注) 同等以上の学力を有すると認められた者とは以下の方が該当します。**該当の方は、学校等から発行される証明書の添付が必要となります。詳しくは、試験事務局までお問い合わせ下さい。**

○ 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項）

- ・独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ・専修学校の専門課程（修業年限 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- ・外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者 など

○ 短期大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 155 条第 2 項）

- ・専修学校の専門課程を修了した者のうち大学に編入することができる者
- ・外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者 など

○ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（学校教育法施行規則第 150 条）

- ・専修学校の高等課程（修業年限 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者
- ・高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定を含む。）に合格した者
- ・外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者 など

3. 試験方法および合否判定

3.1 試験方法

受験者が鉄道設計業務に関して、十分な経験に基づいた高度な管理能力、および必要な知識を有することを確認するため、筆記による試験を実施します。

(1) 試験区分：鉄道土木、鉄道電気、鉄道車両

(2) 試験科目ごとの出題範囲（カッコ内は出題形式および配点）

| 試験科目 | | 範囲 |
|-------------------|-----|---|
| 共通試験 (全試験区分共通) | | (1) 鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 ^(注) の基礎的知識 (2) 鉄道土木、鉄道電気および鉄道車両の技術に関する基礎的知識 ① 鉄道土木、鉄道電気、鉄道車両の常識的な内容および近年話題となっている新技術等の問題 ② 簡単な計算問題 (マークシート方式による、正誤、語群選択式) (全 30 問×小問 4 問：240 点) |
| 専門試験Ⅰ (各試験区分別) | | 各試験区分における専門的な知識 (1) 鉄道土木：鉄道計画、線路、鉄道構造物、停車場、その他鉄道土木に関する事項 ① 鉄道土木における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ② 鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 ^(注) の土木設備・施設に関する内容の問題 ③ 簡単な計算問題 (2) 鉄道電気：送配変電設備、電車線設備、信号設備、通信設備、その他鉄道電気に関する事項 ① 鉄道電気における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ② 鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 ^(注) の電気設備・施設に関する内容の問題 ③ 簡単な計算問題 (3) 鉄道車両：電車、機関車、気動車、客車、貨車、その他鉄道車両に関する事項 ① 鉄道車両における専門的知識および近年話題となっている新技術等の問題 ② 鉄道営業法および鉄道事業法等の技術に関する法令 ^(注) の車両設備に関する内容の問題 ③ 簡単な計算問題 (マークシート方式による、正誤、語群選択式) (【全 30 問中 20 問選択】×小問 4 問：240 点) |
| 専門試験Ⅱ (各試験区分別) | 記述式 | 鉄道設計技士としての技術的な判断能力、応用能力を問う (【全 4 問中 3 問選択】×小問 4 問：60 点) |
| | 論文式 | 鉄道設計技士としての技術的な見識を問う (400 字詰め解答用紙 4 枚以内：140 点) |

(注) 法令に関しては「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の解釈基準」等の通達を含む。

3.2 合格基準および合否判定

(1) 各試験科目の合格基準

① 共通試験・専門試験Ⅰ

共通試験、専門試験Ⅰの得点が各々満点の50%以上、かつ2科目の合計点が満点の70%以上であることを基準として、問題の難易度で補正した点数以上の者を合格者とします。

② 専門試験Ⅱ

記述式および論文式の得点の合計が満点のおよそ60%以上の者を合格者とします。

(2) 試験の合否判定

試験の合否判定は、共通試験・専門試験Ⅰ、専門試験Ⅱのそれぞれについて行います。ただし、共通試験・専門試験Ⅰが合格基準に満たない場合は、専門試験Ⅱの採点を行いません。

共通試験・専門試験Ⅰと専門試験Ⅱの合格をもって、鉄道設計技士試験の合格とします。

4. 試験科目免除制度

4.1 試験科目免除制度の適用

共通試験・専門試験Ⅰに合格し、専門試験Ⅱに合格しなかった場合、共通試験・専門試験Ⅰに合格した翌年度から3年間に限り、申請により共通試験・専門試験Ⅰが免除されます。ただし、3年間の免除期間内に専門試験Ⅱに合格できなかった場合、免除期間最終年度の翌年度からは新たに共通試験・専門試験Ⅰから受験することになります。

2023年度に試験科目免除の申請を行う場合は、**2020～2022年度のいずれかの「鉄道設計技士試験の結果」通知はがき(以下「試験結果通知はがき」)の原本**が必要です(コピーでは受付できません)。なお、**試験結果通知はがきを紛失した場合**、「共通試験・専門試験Ⅰ合格証明書交付申請書」により**同合格証明書の交付を試験事務局に申請し、同合格証明書を添えて受験申請を行って下さい**(「共通試験・専門試験Ⅰ合格証明書交付申請書」は鉄道設計技士試験のウェブサイト(<https://www.rtri.or.jp/gishi/>)よりダウンロードできます)。

4.2 試験科目免除制度の特例

2022年度の試験科目免除資格を有していた者が、以下の理由その他の特別な事情により、2022年度に受験できなかった場合、受験申請書の試験科目免除申請欄にチェックを入れ、必要書類を添えて申請することによって、特例として共通試験・専門試験Ⅰが免除されます。詳しくは試験事務局までお問い合わせ下さい。

・激甚災害による特例適用

試験科目免除の資格を有していた者が、試験前日または当日に発生した、激甚災害法に基づき激甚災害として政令で指定された災害によって受験できなかった場合に特例を適用します。

5. 受験申請

5.1 受験申請受付

(1) 申請受付期間

2023年6月9日（金）～2023年7月7日（金）

※ 2023年7月7日（金）の消印があるものまで有効です。

(2) 申請受付方法

受験申請は、郵送にて受け付けます。

① **以下のいずれか**にて送付して下さい。

- ・ **レターパックプラス（赤）**
- ・ **簡易書留**
- ・ **書留**

なお、**郵送時の事故があっても、特別な対応はいたしません。**

② 受験申請書類は、**折らずに**封筒に入れて郵送して下さい。

③ 封筒には必ず「**受験申請書在中**」と**明記**して下さい。

(3) 申請書送付先

公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター 鉄道設計技士試験事務局

〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-38

電話：042-573-7237

5.2 受験料の納付

(1) 受験料（消費税込）

- ① **共通試験・専門試験Ⅰおよび専門試験Ⅱの受験者** : 26,000円
- ② **試験科目免除対象者(専門試験Ⅱのみの受験者)** : 16,000円

(2) 納付方法

① 下記口座に振り込んで下さい。

※ 振込手数料は受験者負担となります。

② **振込時の依頼人の欄には、必ず「受験者氏名」に「日中連絡の取れる電話番号」を添え、「総研太郎 0312345678」の要領で記入して下さい。**

③ 申請書類に**振込明細のコピー**を貼付して下さい（5.4.4参照）。

【振込口座】

| 銀行 | 口座種別 | 口座番号 | 口座名 |
|----------------|------|---------|---|
| 三井住友銀行 国立支店 | 普通預金 | 5514334 | 公益財団法人鉄道総合技術研究所 (カナ表記の場合) ザイ テット ウソウゴ ウギ ジ ュツケンキウシヨ |

5.3 提出書類一覧

実務経験年数や過去の受験経歴により提出書類が異なりますので、以下の(1)～(3)のうち該当する記事を参照して、提出物を揃えて下さい。

受付期間を過ぎて申請した場合、または「2. 受験資格」を満たさないと判断した場合には、受験申請書類を受理せずに返送いたします。

また、提出された受験申請書類が揃っていても、記載内容に不備がある場合には、事務局から個別に連絡いたします。その際には、事務局から指定された再提出期限内に受験申請書類を再提出して下さい。期限内に再提出されない場合には、受験申請書類を受理せずに返送いたします。

※ 受理された書類は、試験事務局より返却・提示はいたしません。

(1) 初めて受験する方

初めて受験する方は該当するページを参照して、提出書類を揃えて下さい。

| 書類名称 | | ページ | 実務経験年数 12年未満 | 実務経験年数 12年以上 |
|------------|-----------|--------|------------------|-----------------|
| ①受験申請書 | | p.8 | ○ | |
| ②実務経験経歴証明書 | | p.9～10 | ○ | |
| ③卒業証明書 | | p.11 | ○ | × |
| 貼付台紙 | ④振込明細貼付台紙 | | ○ 26,000円納付分のコピー | |
| | ⑤はがき貼付台紙 | | × | |
| ⑥チェックリスト | | | ○ | |

[凡例] ○：必要 ×：不要

(2) 2020～2022 年度までの共通試験・専門試験 I に合格した方（試験科目免除対象者）

試験科目免除の申請を行うと、今年度の共通試験・専門試験 I が免除されます。

| 書類名称 | ページ | 経歴証明書を 2020 年度以降に 提出※ | 経歴証明書を 2019 年度以前に提出※ | |
|-------------------|--------|-----------------------------|-------------------------|------------------|
| | | | 実務経験年数 12 年未満 | 実務経験年数 12 年以上 |
| ①受験申請書 | p.8 | | ○ | |
| ②実務経験経歴証明書 | p.9～10 | × | ○ | ○ |
| ③卒業証明書 | p.11 | × | ○ | × |
| 貼付台紙 ④振込明細貼付台紙 | | ○ 16,000 円納付分のコピー | | |
| ⑤はがき貼付台紙 | | ○ 試験結果通知はがき（原本）を貼付 | | |
| ⑥チェックリスト | | | ○ | |

[凡例] ○：必要 ×：不要

※ 試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご参照下さい。

(3) 過去に受験した方で(2)に該当しない方

2020～2022 年度の試験結果通知はがき（原本）をお持ちの方は、試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄の記事に応じて一部書類を省略することができます。

| 書類名称 | ページ | 経歴証明書を 2020 年度以降に 提出※ | 経歴証明書を 2019 年度以前に提出※ または試験結果通知はがき(原本)なし | |
|-------------------|--------|--|--|------------------|
| | | | 実務経験年数 12 年未満 | 実務経験年数 12 年以上 |
| ①受験申請書 | p.8 | | ○ | |
| ②実務経験経歴証明書 | p.9～10 | × | ○ | ○ |
| ③卒業証明書 | p.11 | × | ○ | × |
| 貼付台紙 ④振込明細貼付台紙 | | ○ 26,000 円納付分のコピー | | |
| ⑤はがき貼付台紙 | | ○2020～2022 年度の 試験結果通知はが き（原本）を貼付 | × | |
| ⑥チェックリスト | | | ○ | |

[凡例] ○：必要 ×：不要

※ 試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご参照下さい。

5.4 各書類の記入方法

受験申請書や実務経験経歴証明書などの書類には所定の用紙を使用し、記入欄に必要事項を記入して下さい（手書きの場合は、**楷書**で記入して下さい）。なお、記載内容に偽りが認められた場合、受験資格または合格を取り消すことがあります。

5.4.1 受験申請書（必須）

受験申請書は、以下の例にならって記入して下さい。なお、訂正した箇所には申請者の訂正印を押して下さい。

※ 問い合わせをする場合があるため、問い合わせ連絡先には確実に連絡の取れる電話番号を記入して下さい。連絡が取れない場合は受験できないことがあります。

※ コンピュータ処理上、受験票等に表示されている氏名および住所の文字は、原則として、JIS 規格（第1水準、第2水準）を使用しますので、JIS 規格にない文字はJIS 準拠のものに改めることがあります。

| | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|
| ・問い合わせ連絡先は、 確実に連絡の取れる電話番号 を記入して下さい。 | | ・戸籍に登録されている氏名を記入して下さい。 | | ・生年月日は、 西暦 で記入して下さい。 ・生年月日の年齢欄は、 試験当日(2023年10月22日)時点の年齢 を記入して下さい。 | |
| ふりがな | そうけん たろう | | 生年月日 | 1980年 4月 1日生 | |
| 氏名 | 総研 太郎 (男・女) <small>※戸籍に登録されている氏名を記入して下さい</small> | | 現住所 | 〒123-4567 東京都 ○○区○○ | |
| 問い合わせ連絡先 | Tel(自宅) Tel(携帯) | | 試験区分 | ・試験区分が「 鉄道電気 」の受験者の方は、「強電分野(送配変電設備、電車線設備)」、「弱電分野(信号設備、通信設備)」から一つ選んでチェック(☑)して下さい。専門試験Ⅱでは、選んだ分野について解答していただきます。なお、 受験申請書類受理後の変更はできません。また、専門試験Ⅱで選んでいない分野について解答した場合、採点は行いません。 | |
| 試験区分 | <input type="checkbox"/> 鉄道土木 | | <input checked="" type="checkbox"/> 鉄道電気 <input type="checkbox"/> 強電分野(送配変電設備、電車線設備) | | <input type="checkbox"/> 鉄道車両 <input type="checkbox"/> 弱電分野(信号設備、通信設備) |
| 試験地 | <input checked="" type="checkbox"/> 東京 <input type="checkbox"/> 大阪 | | 試験科目免除申請 | <input type="checkbox"/> 試験科目免除を申請します <small>※本欄にチェックしていない場合は免除になりません</small> | |
| 勤務先 | 名称(部課名まで記入して下さい) ○○電気鉄道株式会社 △△部 □□課 | | ・試験科目免除を申請する方(特例適用を含む)は、「試験科目免除申請」欄の「試験科目免除を申請します。」にチェック(☑)して下さい。 | | |
| | 所在地 | 〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-3 | | 連絡先 | ・試験地は、「東京」、「大阪」から一つ選んでチェック(☑)して下さい。なお、 受験申請書類受理後の試験地の変更はできません。 |
| 最終学歴 | ・勤務先は、 部課名まで詳細に記入 して下さい。 ・連絡先の 電話番号(Tel) およびメールアドレス(Mail) は、問い合わせ連絡先への連絡が取れなかった場合に使用するので、 勤務先のもの を必ず記入して下さい。 | | ※大学院を修了した方は、上段に大学院を、下段に大学を記入して下さい | | |
| | 学校・大学・大学院 | 学部・学科・専攻 | 在学期間(西暦で記入して下さい) | | |
| | ××大学 大学院 | 工学研究科 電気工学専攻 | 2000年 4月～2002年 3月 | | |
| □□大学 | 工学部 電気工学科 | ・大学院を修了した方は、「最終学歴」の欄の 上段に大学院、下段に大学 を記入して下さい。 ・在学期間は、 西暦 で記入して下さい。 | | | |

5.4.2 実務経験経歴証明書（2020～2022 年度に提出されている方は不要）

実務経験経歴証明書は、受験資格に対応した必要な実務経験年数を公的に証明するものです。一度提出すると翌年度以降 3 年間有効です。2020～2022 年度のいずれかの試験結果通知はがきをお持ちの方で、同じ試験区分で受験される方は、その試験結果通知はがき（原本）を実務経験経歴証明書に代えることができます（コピーでは受付できません）。試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご確認下さい。

- ① 証明権限を有する役職者（以下の例を参照）から公印による証明を受けて下さい。
 - ・ 国の機関、都道府県、市町村：局長、部長、所長、場長以上
 - ・ 公益法人：事務局長以上
 - ・ 学校：学部長以上
 - ・ 一般の会社：代表権限を有する方または代表権限を有する方から正式な手続きに基づいて証明権限を委譲された部長・課長等

※ 受験申請者が証明権限を有する場合でも、上位の役職者がいる場合には必ず上位の役職者から証明を受けて下さい。ただし、受験申請者が法人代表者の場合には、法人の代表者としての資格において本人の証明を行って下さい。
- ② 必要な実務経験年数を満たすために、複数の法人等（現勤務先・出向元・出向先・転職前の法人等）での実務経験年数を加算する必要がある場合には、それぞれの法人等から当該法人等での実務経験経歴について証明を受けて下さい（複数通提出することになります）。

※ 法人等の統合や事業継承、名称変更等の場合は単一の法人とみなしますが、旧法人名とその変更年月日を現在の所属先の続きに明記して下さい。
- ③ 以下に該当する方は、それぞれの注意事項に従って証明書を提出して下さい。
 - ・ 証明書の取り寄せが困難な場合（海外の法人または現存しない法人の場合）


当該法人等に在籍していた証明権限を有する方の証明をもって代えることができます。この場合、証明者の現職名・現住所を明記し、当該法人等において当時役員または責任ある立場にあった旨の宣誓書を提出して下さい。
 - ・ 日本国有鉄道での実務経験経歴を含める場合
承継法人で証明を受けて下さい。
 - ・ 個人経営の法人における実務経験経歴を含める場合
関係官公庁または取引先の会社等、第三者から証明を受けて下さい。

- ・設計に関する業務（受験する試験区分の専門分野に限る）に従事した期間（所属法人等の保守部門、工事部門または研究部門における設計対象に係わる業務の経験年数を含める）について、古いものから順に記入して下さい。なお、**鉄道の設計に係わる業務のみ**を記載して下さい。

鉄道の設計に係わらない業務の記述や、鉄道の設計業務であることが不明瞭な記述があった場合、再提出を求めることがあります。

実務経験経歴証明書

- ※「職務内容」には、鉄道の設計に係わる業務であることが分かるように、明確に記入して下さい。不明瞭な記述があった場合、再提出を求めることがあります。
- ※証明法人以外での実務経験については含めないで下さい。出向や転職などで複数の法人等に所属していた場合は、それぞれの法人等ごとに実務経験経歴証明書を取得して下さい。
- ※「生年月日」、「在籍期間の年月」は西暦で記入して下さい。

氏名 総研 太郎 

生年月日
1980年 4月 1日生

・「氏名」の欄には**必ず押印**して下さい。

・在籍期間の年月は、**西暦**で記入して下さい。
・期間が重複したり、順不同になったりしないようにして下さい。

| 在籍期間 | | | 所属部課 | 職名 | 職務内容 |
|----------------------|-----|----|--------|----|--------------------|
| 年/月 ~ 年/月 | 年数 | 月数 | | | |
| 2013年4月~ 2015年10月 | 2 | 7 | 〇〇部△△課 | 主席 | 車両の保守を含む、〇〇改良工事の設計 |
| 2015年11月~ 2023年4月 | 7 | 6 | ××部□□課 | 副長 | 車両△△システムの開発 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | 10年 | 1月 | | | |

・職務内容は、**鉄道の設計に係わる業務であることが分かるように**明確に記入して下さい。「工程管理・計画・工事・保守」のみの記述では鉄道の設計業務かどうか判断できませんので避けて下さい。

【記入例】


- 改良工事の設計
- △△システムの開発
- ■の施工管理
- 〇〇設備の保守

・証明権限を有する役職者の所在地・法人名・代表者名を記入して下さい。
・**必ず公印を押印し、押印した日を証明日として下さい。**

上記のとおり相違ないことを証明する。

2023年 7月 1日 所在地 東京都〇〇区△△町□丁目×番◎号

法人名 □□電鉄株式会社

代表者名 〇〇支社長 国立 研太 

※修正液や抹線、私印での実務経験経歴証明書の訂正は認めませんので注意して下さい。

※過去の経歴で複数の法人等に所属していた場合は、その法人等ごとに実務経験経歴証明書を取得して下さい。

5.4.3 卒業証明書（実務経験年数が12年以上または2020～2022年度に提出されている方は不要）

卒業証明書は、「2. 受験資格」の学歴を公的に証明するものです。一度提出すると**翌年度以降3年間有効**です。**2020～2022年度のいずれかの試験結果通知はがきをお持ちの方で、同じ試験区分で受験される方は、その試験結果通知はがき(原本)を卒業証明書に代えることができます(コピーでは受付できません)**。試験結果通知はがき裏面の「経歴証明書」欄をご確認下さい。

- ① 最終卒業学校で発行する**卒業証明書(原本)**を1部提出して下さい。「2. 受験資格」において、「第1号から第3号までに掲げる学歴と同等以上の学力があると認められた者」に該当する方は、その**証明書(原本)**を1部提出して下さい。**実務経験年数が12年以上の方は、証明書は不要です。**
- ② 卒業証明書の取得が困難な場合は、事務局までご相談下さい。
- ③ 結婚等による改姓により、現在の姓と異なる場合は、「戸籍抄本」も併せて提出して下さい。
- ④ 最終卒業学校が大学院の場合、提出する卒業証明書は大学または大学院のどちらのものでも構いません。

5.4.4 振込明細貼付台紙（必須）

振込明細を**振込明細貼付台紙**に収まるように**縮小コピーして**貼付して下さい。

※ インターネットバンキングの場合は、振込明細または入出金明細を印刷したものを貼付して下さい。

※ 提出していただいた銀行の振込明細の原本・コピーは、試験事務局より返却・提示はいたしません。

5.4.5 はがき貼付台紙

はがき貼付台紙には、試験結果通知はがき（**原本**）を貼付して下さい。

※ 受験票での受付はできません。

5.4.6 チェックリスト（必須）

チェックリストは、必要な書類が揃っているかを受験者および試験事務局が確認するためのものです。チェックリストにより提出書類を確認し、提出書類と一緒に提出して下さい。

6. 受験申請後の注意事項

6.1 受験票・写真票

(1) 受験票・写真票は、9月末に発送予定です。

10月4日（水）までに届かない場合は、
試験事務局へお問い合わせ下さい。

(2) 受験票には、当日の注意事項が記載されていますので、必ず確認して下さい。

(3) 写真票に、必ず受験者本人の写真を貼り付けて持参して下さい。写真は、3×4cm、脱帽・無背景・正面・上半身、6ヶ月以内に撮影したものとし、裏面には必ず氏名と受験番号を記入して下さい。

写真を貼り付けていない場合や、本人確認ができない不鮮明な写真またはコピーなど写真以外のものを貼り付けている場合には、受験を認めないことがあります。

(4) 受験票・写真票は、受験する際に必要な書類です。必ず試験当日持参して下さい。

(5) 写真票は、試験開始後に回収します。

キリトリ線で切らずに、会場に持参して下さい。

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------|-------------|--------|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | □□□ - □□□□ | | | | | | | | | | |
| | 東京都国分寺市光町 2-8-38 | | | | | | | | | | |
| | 総研 太郎 様 | | | | | | | | | | |
| 2023年度 鉄道設計技士試験受験票 | | | | | | | | | | | |
| 試験区分 | 鉄道電気 | 受験地 | 大阪 | | | | | | | | |
| 専門試験Ⅱ | 強電分野 | | | | | | | | | | |
| 受験番号 | B1000 | | | | | | | | | | |
| 試験科目確認欄 | | | | | | | | | | | |
| 共通試験・専門試験Ⅰ | 専門試験Ⅱ | | | | | | | | | | |
| 免除 <small>(2024年度まで有効)</small> | 受験 | | | | | | | | | | |
| 公益財団法人鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター 鉄道設計技士試験事務局 〒185-8540 東京都国分寺市光町 2-8-38 | | | | | | | | | | | |
| ----- ネットワ線 ----- | | | | | | | | | | | |
| ○ | | | | | | | | | | | |
| 2023年度 鉄道設計技士試験写真票 | | | | | | | | | | | |
| 受験番号 | B1000 | 受験地 | 大阪 | | | | | | | | |
| 試験区分 | 鉄道電気 | 専門試験Ⅱ | 強電分野 | | | | | | | | |
| 氏名 | 総研 太郎 | | | | | | | | | | |
| 写真 1) 受験申請前 6ヶ月以内に上半身正面脱帽・背景無地で撮影したもの 2) 寸法は 3cm×4cm 3) 裏面に氏名・受験番号を記入すること 4) 鮮明な写真を貼付すること | ※事務局使用欄 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">試験科目免除</td> <td style="width: 40%;">有 無</td> </tr> <tr> <td>共通試験</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> <tr> <td>専門試験Ⅰ</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> <tr> <td>専門試験Ⅱ</td> <td style="text-align: center;">出 欠</td> </tr> </table> | | | 試験科目免除 | 有 無 | 共通試験 | 出 欠 | 専門試験Ⅰ | 出 欠 | 専門試験Ⅱ | 出 欠 |
| 試験科目免除 | 有 無 | | | | | | | | | | |
| 共通試験 | 出 欠 | | | | | | | | | | |
| 専門試験Ⅰ | 出 欠 | | | | | | | | | | |
| 専門試験Ⅱ | 出 欠 | | | | | | | | | | |
| ・写真を必ず貼付して下さい。 ・写真の表面には、受験番号および氏名を必ず記載して下さい。 | | | | | | | | | | | |

6.2 その他

- (1) 受験申請書類が受理された後は、提出された書類および受験料は一切お返ししません。また、試験区分および試験地の変更はできません。試験区分で「鉄道電気」を選択した方は、専門試験Ⅱで解答する分野の変更もできません。
- (2) 受験の申請後、受験申請書類に記載した内容に変更が生じた場合（転居による住所変更など）には、鉄道設計技士試験のウェブサイト (<https://www.rtri.or.jp/gishi/>) から「住所・氏名変更届」をダウンロードし、必要事項を記載・押印の上、レターパックプラス（赤）、簡易書留または書留のいずれかの方法で、試験事務局に郵送して下さい。また、結婚等による改姓があった場合には、「戸籍抄本」も併せて提出して下さい。なお、これらの提出は遅滞なく、また正確に行わないと受験に支障をきたすことがあります。

※ 受理された書類は、試験事務局より返却・提示はいたしません。

7. 試験当日の注意事項

- (1) 試験当日には受験票および写真を貼付した写真票を持参し、机上の受験番号札の横に置いて下さい。
- (2) **試験会場は、試験区分等により異なりますので、受験票の案内をよくご確認ください。**
- (3) 試験会場へは、公共交通機関をご利用のうえ、ご来場下さい。
- (4) 会場周囲への迷惑とならないよう、試験会場には**開場時刻以降**に到着するようにして下さい。なお、開場時刻は受験票でご案内します。
- (5) 試験開始前に試験に関する注意事項を説明します。共通試験・専門試験Ⅰの受験者は**10時15分**までに着席して下さい。また、専門試験Ⅱの受験者(試験科目免除対象者を含む)は**13時45分**までに着席して下さい。遅刻した場合には入室を認めないことがあります。
- (6) **筆記用具、定規および電卓以外の使用は認めません。試験当日に使用が認められている電卓は、四則演算(+・-・×・÷)、平方根($\sqrt{\quad}$)、百分率(%) および数値メモリのみに有するものに限ります。以下の機能がある電卓は使用できません。**

使用できない電卓

関数電卓、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付電卓

- ・プログラムを組み込む機能や漢字、かな文字、アルファベット等による語句・文章・数式・方程式を記憶、または内蔵する機能を有するもの
- ・次に示すようなキーのあるもので、関数電卓またはプログラム機能を有するもの
[sin] [cos] [tan] [log] [RUN] [EXE] [PRO] [PROG] [COMP] [ENTER] [COPY] [REPLAY]
[P1] [P2] [P3] [P4] [PF1] [PF2] [PF3] [PF4]

- (7) 不正な手段を用いた受験者は、即刻退場していただきます。
- (8) 試験中は、携帯電話等、電子機器の電源を切して下さい。また、**携帯電話・スマートウォッチ等を時計または電卓として使用することはできません。**試験中の携帯電話等の操作、着信音等を確認した場合は、不正行為とみなして退場していただくことがあります。
- (9) 試験会場では、試験監督員の指示に従って下さい。

8. 合格発表

- (1) 2024年1月19日(金)(予定)に、鉄道設計技士試験のウェブサイト(<https://www.rtri.or.jp/gishi/>)に合格者の受験番号を掲載します。また受験申請者全員に試験の結果を郵便はがき(試験結果通知はがき)でお知らせします。届かない場合には、試験事務局へお問い合わせ下さい。なお、試験結果および個人の得点に関するお問い合わせには、一切お答えできません。
- (2) 合格発表の後でも、不正手段を用いたことが判明した場合には、合格を取り消します。

9. 合格後の手続き

9.1 合格証明書の交付および名簿の登録手数料の納付

合格者は、試験結果通知はがきにて「合格」を確認した後、はがきに記載された指定口座に「合格証明書の交付および名簿の登録手数料」5,000円(消費税込)を振り込んで下さい。合格者全員に納付していただきます。また、本人を確認するための証明書類として、納付期間内に、**レターパックプラス(赤)、簡易書留または書留のいずれかの方法**で、次に掲げる**いずれか一つ**を試験事務局に郵送して下さい。詳細については、試験結果通知はがきをご覧ください。

- (1) 住民票の写し(コピー不可。**マイナンバーの記載されていないもの**、発行後3ヶ月以内のものに限る)
- (2) 運転免許証のコピー(裏表)
- (3) 公的医療保険に加入していることを証する書類のコピー(健康保険被保険者証、共済組合被保険者証、国民健康保険被保険者証、または船員保険被保険者証)
- (4) 日本国籍以外の方は外国人登録証明書(ただし、上記のいずれかの証明書を持っている方は除く)

10. 不合格になった方への注意事項

- (1) 共通試験・専門試験Ⅰに合格、または試験科目免除者で専門試験Ⅱに不合格になった場合
2023年度の試験結果通知はがきは、はがきに記載された免除期間内に試験科目免除を申請する際に必要となりますので、大切に保管して下さい。
- (2) 共通試験・専門試験Ⅰに不合格になった場合
2023年度の試験結果通知はがきは、「経歴証明書」欄の記事によって、実務経験経歴証明書および卒業証明書に代えることができますので、大切に保管して下さい。

個人情報に関する取り扱い

試験事務局は、受験申請書類に記載された個人情報について、本試験に関わる事務並びに合格者に対する試験事務局からのお知らせなどの目的に限り利用します。また、外部から個人情報の公開・提供の依頼があった場合、その要請に対しては拒否し、申請者皆様のプライバシー保護を遵守します。ただし、法令により開示しなければならない場合は、個人情報を開示する場合があります。

受験申請書送付先・お問い合わせ先

〒185-8540

東京都国分寺市光町 2-8-38

公益財団法人鉄道総合技術研究所

鉄道技術推進センター

鉄道設計技士試験事務局

電話 : 042-573-7237

【お問い合わせ受付時間】

10:00~12:00、13:30~17:00

(土・日・祝日を除く)

FAX : 042-573-7486

メール : gishi@rtri.or.jp

鉄道設計技士試験のウェブサイト

<https://www.rtri.or.jp/gishi/>



